

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の方申書

教科名 道 徳

番号 観 点	発 行 者 略 称 東 書	教 科 書 番 号 <新しい道徳> 112、212、312、412、512、612
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 自身の誕生に対する周囲の喜びや動物の食物連鎖などを基に、生きることのすばらしさや生命の大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方や健康でいることへの喜びなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 病気で命を失った子どもの話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 季節の移り変わりに伴う草木の変化や公園にいる生き物とのふれあいなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 身近な動物に対し、大切にしたいことやフクロウの観察等を基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ イルカの保護活動からSDGsへ考えを広げたり、外来種の問題をグループで考えたりする活動を基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 他の国から来た食べ物や通学路における四季の移ろいなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 自治体のイメージキャラクターや、ふるしきの使い方等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 正月料理に込められた願いや坂本龍馬の日本を思う心や生き方等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ ICT端末の正しい使い方やICT端末に係る依存症などを扱い、使い方のルールを守ることの大さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 著作権を侵害する場面や、オンラインゲームで遊ぶ場面を扱い、友人と楽しく遊ぶためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 情報の取り扱いにおける便利な点と注意すべき点、情報社会で差別につながりやすいフィルターバブルやエコチェンバーなどについて、SNSでの事例を基に、情報モラルについて考えを深める活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 登場人物と同じようにお辞儀をしたり、登場人物になって挨拶をしたり、やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている</p> <p>中学年～ 登場人物の行動の問題点や悩みについて、自分だったらどう行動するだろうかと伝え合ったり、将来の自分に向けてメッセージを送ったりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 提案について話し合ったり、きまりが守られる社会にするために必要な心構えについて考えたり、自由ではなく自分勝手だったことはないか自分を振り返ったりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっていく。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的価値に根差した問題を見付け、多面的・多角的に考えながら話し合う学習指導過程の提案として、「問題を見つけて考えよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるようになっていく。 ・体験的な学習については、各学年に、「演じて考えよう（役割演技）」や「やってみて考えよう（動作化）」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるようになっていく。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関する事」、Bは「主として人との関わりに関する事」、Cは「主として集団や社会との関わりに関する事」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは10教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは6教材、全体で34教材であり、総ページ数は146ページになっている。（判型はA B判）</p> <p>第2学年～ Aは11教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は162ページになっている。（判型はA B判）</p> <p>第3学年～ Aは8教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは7教材、全体で35教材であり、総ページ数は178ページになっている。（判型はA B判）</p> <p>第4学年～ Aは9教材、Bは8教材、Cは11教材、Dは7教材、全体で35教材であり、総ページ数は180ページになっている。（判型はA B判）</p> <p>第5学年～ Aは9教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは7教材、全体で35教材であり、総ページ数は188ページになっている。（判型はA B判）</p> <p>第6学年～ Aは8教材、Bは7教材、Cは12教材、Dは8教材、全体で35教材であり、総ページ数は196ページになっている。（判型はA B判）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、各学年に、道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し、学習意欲を高める工夫がなされていて分かりやすい。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むために、各学年に、「どんな学びをするのかな？」や自分の考えを可視化し、話し合い活動を促すためのツールを配置しているため大変よくできている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントや、カラーユニバーサルデザインに配慮した教科書となっている。 ・1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「コンピュータで学びを広げよう」を活用できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、全学年で「ユニット」として、いじめを直接的に扱う教材と間接的に扱う教材、いじめに関するコラムを組み合わせ取り上げている。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、5年生の2教材である。</p> <p>○ 全ての学年に複数のコラム記事を掲載し、他の学習や生活につなげたり、広げたりできるようになっている。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	教出	<小学道徳 はばたこう明日へ> 113、213、313、413、513、613
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 母親のお腹の中での命のはじまりや、地震による災害等を基に、生きることの素晴らしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 重い病気を患っている子どもの生き方や院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 病気で命を失った兄弟の話や、院内学級の先生の思いなどの実話を基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 自然の中での遊びの経験や生き物と関わるときに気を付けることなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 動物園の飼育員の行動や世界自然遺産等を基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 自然保護活動やプラスチックごみ問題等を基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 昔から伝わる日本の行事や文化、生まれ育ったふるさとの風景等を基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 地域に伝わる祭りや行事、日本や地域の伝統の食べ物などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ よさこいソーラン祭りや松浦武四郎の生き方など、北海道の地域素材を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 他人が書いた掲示板を勝手に書き換えてしまう場面や、知らない人に自分の家のことなどを話してしまった場面を扱い、人の情報を勝手に書き換えた際の結末や、知らない人へ家族等の情報を伝えた際の危険性等を考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 新聞づくりで情報を発信する場面や、インターネットでプレゼントの応募をする場面を扱い、他者の情報の扱い方や自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ インターネットを通じて知り合った相手から受けた犯罪被害件数や、プライバシー権についての説明を扱い、自分の情報を守るためや、他人のプライバシー権を侵害しないためには、どのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 登場人物の続きの言葉を考えたり、笑った役になって演じたり、やってみてどう思ったのか友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 登場人物の行動の問題点について考え、自分がクラスの一員だったら、どうしたいかを発表したりするなど、解決方法を話し合う活動を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 自分が「わたし」だったらどうするのか話し合ったり、問題点について考えたり、事例の共通点と異なる点、問題の重さについて話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が話し合ったり、自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が自ら課題を見つけ、友達と議論を重ねながら課題の解決方法を見いだすための「学習のてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるようになっている。 ・体験的な学習については、各学年に、演じたり、話し合ったりしながら自分の考えを発表する「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義等について考えを深めるようになっている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは10教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは4教材、全体で34教材であり、総ページ数は161ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは11教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは4教材、全体で35教材であり、総ページ数は161ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは5教材、全体で35教材であり、総ページ数は169ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第4学年～ Aは9教材、Bは10教材、Cは10教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は169ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第5学年～ Aは10教材、Bは6教材、Cは13教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は185ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第6学年～ Aは8教材、Bは8教材、Cは12教材、Dは7教材、全体で35教材であり、総ページ数は185ページになっている。(判型はA B判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、各学年に、道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように「学びのガイダンス」や、各教材末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、各学年に、「道徳ではこんな学び方をするよ」や、教材での学びをさらに深め充実させる「タブレットを学習に生かそう」を配置している。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮した教科書となっている。 ・1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、「まなびリンク」を活用できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、全学年でユニット化し、効果が高まるような工夫がされている。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、4・5・6年生に各2教材である。</p> <p>○ 教材に合わせた多様な指導方法を取り入れている。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 道 徳

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観 点	光村	<道徳 きみが いちばん ひかるとき> 114、214、314、414、514、614
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 自身の心臓の音や、生まれたばかりの赤ちゃんの話、交通事故の話などを基に、生きることのすばらしさや、生命を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ モンシロチョウが森の池に落ちたことや、おなかの中の小さな命などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 精一杯生きることや祖母を看取ったことなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ アサガオの世話をした経験やダンゴムシを飼った経験等を基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 都会でトンボを守る取組や、ウミガメの飼育と観察等を基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ プラスチックごみが自然に与える影響等を基に、身近な環境から、地球や宇宙の未来の環境まで幅広い視点で自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 日本や、自分が住んでいるところに伝わる遊び、お正月に食べるおせちなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ ふろしきのいろいろな包み方や、ふるさとの伝統的な行事等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 地域の良さや日本の良さなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 休み時間やそうじの時間等において、みんなで使う物や約束を守るためにはどのようなことが大切かを考えたり、誰かが作ったものを使いたい時にはどういった声かけが必要かを考えたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 夜寝るときに、ゲームをする場面を扱い、「やめられない」を断ち切るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動や、お互いが分かり合うためには気持ちや考えをどのように伝えることが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ インターネットを利用する場面や、スマートフォンで写真を投稿する場面を扱い、インターネットの特性を踏まえたマナーや、安心してインターネットを利用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 登場人物の話したことを考えたり、好きなことの原因を一緒に伝えたり、伝え合っ てよかったことを出し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考え を広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 人によって態度を変えるのはどうしてだめなのかについて考えたり、公平に接するこ とができる人が大切にしていることを話し合ったりするなど、自分の考えと相手の考え を比べることを通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 登場人物の言い分を整理したり、相手と理解し合うためには、どのようなことが大切 なのかを考えたり、役割演技を通して言葉をかけ合っ、良かったことを話し合ったり するなど、考えを広げたり深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳 で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、 考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解 決するためにはどうすればよいかを考えたりするための「学習のてびき」を配置し、自分との 関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるよう になっている。 ・体験的な学習については、各学年に、演じている人の表情やしぐさをよく見て、言っているこ とをよく聞いて考える「演じて考えよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容か ら道徳的価値の意義等について考えを深められるようになっている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主 として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わり に関すること」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは10教材、Bは8教材、Cは11教材、Dは5教材、全体で34教材であり、総ペ ージ数は135ページになっている。(判型はB5変形判)</p> <p>第2学年～ Aは10教材、Bは8教材、Cは11教材、Dは5教材、内容項目を限定しない教材 が1教材、全体で35教材であり、総ページ数は167ページになっている。(判型はB5 変形判)</p> <p>第3学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは5教材、内容項目を限定しない教材が 1教材、全体35教材であり、総ページ数は185ページになっている。(判型はB5変 形判)</p> <p>第4学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは5教材、内容項目を限定しない教材が 1教材、全体35教材であり、総ページ数は193ページになっている。(判型はB5変 形判)</p> <p>第5学年～ Aは10教材、Bは9教材、Cは9教材、Dは6教材、内容項目を限定しない教材が 1教材、全体で35教材であり、総ページ数は197ページになっている。(判型はB5 変形判)</p> <p>第6学年～ Aは8教材、Bは9教材、Cは10教材、Dは7教材、内容項目を限定しない教材が 1教材、全体で35教材であり、総ページ数は215ページになっている。(判型はB5 変形判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、各学年に、期 待感をもって学習に向かい、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻 末に、1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を配置し、学習意欲を高める工夫が なされている。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、各学年に、楽しみながら考えることができ るよう「なんだろう なんだろう」や、教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「学びのテーマ」 が配置されている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用 できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、全学年で教材とコラムを組み合わせでユニット化している。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、4・6年生の各2教材と、5年生の1教材である。</p> <p>○ 絵本作家（ヨシタケ シンスケ）の親しみやすい挿絵と文で、自分を見つめるページが全学年 に設けられている。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	日文	<小学道徳 生きる力> 115・116、215・216、315・316、415・416、515・516、615・616
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ お腹の中の赤ちゃんの話などを基に、小さな命のもつ力強さなどを知り、命を大切にしようとすることや、交通事故でのけがなどを基に、自分の命は自分だけのものではないことに気づく活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 子どもの命を大切に思う親の気持ちや、命に向き合ってきた医師の生き方等を基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 命を守るために懸命に努力した人や、白血病で亡くなった男の子の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ つばめの子育ての話や虫を熱心に観察する主人公の姿を通して、身近な自然や動植物に優しい心で接することや、自然に親しみ動植物を大切にしようとする心情について考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 水やりをさぼってかれたサルビアや、道端の小さな草たちなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 環境保護活動に尽力した人の生き方等を基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 日本の昔から伝わるお菓子や、長岡の大花火にこめられた思いや願いなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 東京産の野菜や、江戸時代の浮世絵等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 和太鼓職人の思いや日本の伝統的な作法等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもって受け継いでいくことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 羊飼いが嘘をついて楽しむ場面や夜遅くまで動画を観て寝坊した場面を扱い、自分のことを信じてもらうためや、規則正しい生活を送るためにはどのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 約束を破ってゲームをする場面や、インターネットでのやり取りの場面を扱い、上手にやり取りするためには、どのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 電話で友達と約束した場面や、携帯電話を夜中まで使う場面等を扱い、友達とのすれ違いが起らないようにするためや、毎日同じリズムで生活するためにはどのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 挨拶をするときと、しないときを演じたり、知らない人に車に乗るように言われた場面を演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 自分の地域の良さを調べて語り合ったり、自分の長所を伸ばすために取り組むことを考え、友達や家族に聞いたりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 長年仕事を続けられた人物の思いや、自分の良さを伸ばすために大切にすることを考えたり、いじめを止めるために誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような特色が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問等、児童の思考と対話を促した上で学習の参考となる「ぐっと深める」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるようになっている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や動作化を通して思考を深める「ぐっと深める」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義等について考えを深めるようになっている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは11教材、Bは8教材、Cは13教材、Dは5教材、全体で37教材であり、総ページ数は200ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは11教材、Bは9教材、Cは12教材、Dは6教材、全体で38教材であり、総ページ数は216ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは11教材、Bは10教材、Cは12教材、Dは5教材、全体で38教材であり、総ページ数は232ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第4学年～ Aは9教材、Bは10教材、Cは13教材、Dは6教材、全体で38教材であり、総ページ数は236ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第5学年～ Aは9教材、Bは10教材、Cは13教材、Dは6教材、全体で38教材であり、総ページ数は232ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第6学年～ Aは10教材、Bは9教材、Cは13教材、Dは6教材、全体で38教材であり、総ページ数は240ページになっている。(判型はA B判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、各学年に、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や、道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置し、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、各学年に、学びを広げ、深める「コラム 心のベンチ」や「導入の発問例」、「考えてみよう」、「見つめよう・生かそう」の3つの発問例の配置がなされている。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮されている。 ・1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載し、「教科書QRコンテンツ」を活用できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、各学年の各学期に関連教材をユニット化して配置している。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、2・3・5・6年生で各1教材、4年生で2教材である。</p> <p>○ 児童の成長を確かめ、保護者との連携にも役立つ「道徳ノート」がセットになっている。</p> <p>○ 児童の教材に対する理解を助けるために、全ての教材にリード文と主な登場人物を掲載している。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	光文	<小学道徳 ゆたかな心> 117、217、317、417、517、617
取扱内容 〔 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等 〕	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 身体の不自由な動物の子育てや自分や家族の病気やけがなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 自身の先祖について考えることや、院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 動物の命を守る人の話や事故で息子を失った親の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 動物と触れ合ったときの気持ちや身近な植物の様子の変り変わりなどを基に、自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 絶滅の危機にある動物や、北海道の自然とエゾリスの関係等を基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 国立公園の自然を守る取組や北海道のエゾマツ等を基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 紅葉狩りの経験やふるさとで作られた食物等を基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 住んでいる土地の伝統行事や、自分の町の誇りとなる物等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 市町村章や熊本城の復旧等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ スマホやゲーム機、タブレットを使うときの場面を扱い、スマホやタブレット等のICT機器を安全に気持ちよく使うためには、どのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ インターネットの情報について判断する場面や、オンラインゲームでいらいらしてしまう場面を扱い、互いが気持ちよく交流するためには、どのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ スマホの使い方について両親と話し合う事例を扱い、スマホと上手に付き合っていくにはどのようなことが大切なのか考える活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 友達と気持ちをこめた挨拶や一言付け加えた挨拶の練習をしたり、登場人物の会話例を真似したりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 友達へ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 友達から遊びに誘われた時の断り方等、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを多面的・多角的に考えたりするための「話し合ってみよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるようになっている。 ・体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動を行う「みんなでやってみよう!」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義等について考えを深めるようになっている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは11教材、Bは9教材、Cは13教材、Dは7教材、全体で40教材であり、総ページ数は162ページになっている。(判型はAB判)</p> <p>第2学年～ Aは10教材、Bは10教材、Cは13教材、Dは7教材、全体で40教材であり、総ページ数は178ページになっている。(判型はAB判)</p> <p>第3学年～ Aは10教材、Bは11教材、Cは12教材、Dは7教材、全体で40教材であり、総ページ数は186ページになっている。(判型はAB判)</p> <p>第4学年～ Aは8教材、Bは11教材、Cは14教材、Dは7教材、全体で40教材であり、総ページ数は190ページになっている。(判型はAB判)</p> <p>第5学年～ Aは9教材、Bは8教材、Cは14教材、Dは9教材、全体で40教材であり、総ページ数は194ページになっている。(判型はAB判)</p> <p>第6学年～ Aは9教材、Bは8教材、Cは15教材、Dは8教材、全体で40教材であり、総ページ数は194ページになっている。(判型はAB判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、各学年に、次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や、巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「学びの足あと」を配置し、学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、各学年に、「道徳の時間は、こんな時間です」や考えを広めたり、深めたりする「考えよう(展開)」「まとめよう(終末)」を配置している。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの配慮がなされている。 ・1人1台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、各内容項目の教材において、直接的・間接的に考えられる教材が選定されている。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、3・4年生で各1教材、5・6年生で各2教材である。</p> <p>○ 自己肯定感を高める「心の力」に気づくように、全学年にレジリエンスコラムがある。</p>

令和6年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 道徳

番号	発行者略称	教科書番号
観点	学研	<新版 みんなの道徳> 118、218、318、418、518、618
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<p>○ 生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 実物大の赤ちゃんの写真や植物の成長等を基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 闘病中の児童とその家族の思いや、重い病気を患っている子どもの生き方等を基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 児童が書いた「命」の詩や、天国に旅立った祖父の思いなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 昆虫を飼育した体験や動物園のキリンの死等を基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 山火事を止めようとした鳥の行動や、ウミガメの成長等を基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 病気の動物を支える活動や、清掃登山活動等を基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、自国の伝統と文化を大切にし、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を養うことができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 正月の過ごし方や自分の町の好きなどころなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 大地震からの復興や、折り紙など昔から受け継がれている物を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 江戸時代の生活や伝統的な祭り等を基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○ 情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単にICT端末の操作や活用等、その注意点を扱うのではなく、正しい使い方のルールを守るためには、どのようなことが大切なのか、道徳的な価値について考えを深めることができるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 掲示板の内容を書き換える場面や学級新聞に間違った情報を書いた場面を扱い、元の情報を勝手に書き換えることの危険性や情報を発信する際にはどのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 家のパソコン使用時の約束を破った場面や、あるサイトに自分の名前を入力してしまう場面を扱い、自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ SNSに写真をアップロードする場面や、チャットで友達とやりとりする場面を扱い、情報を発信する際や情報社会でのコミュニケーションには、どのようなことが大切なのかを考える活動を取り上げている。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内容の構成・排列・分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動を取り上げ、考えを広げたり、深めたりできるような特色が見られる。</p> <p>低学年～ 話の続きを考えたり、登場人物になって問題を相談する場面を演じたり、演じてみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>中学年～ 出された意見のよさについて考えたり、異なる意見が出たときの話し合いをまとめるために大切にすることについて、登場人物の気持ちになって考えたり、自分がこの場にいたら、どんな発言をするのかを発表したりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>高学年～ 自分の長所を見つけて伸ばすために大切なことを考えたり、自然と共存するために、どんなことを大切にしたいか考えて書いたり、書いたものを読み合い、感じたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりできる活動を取り上げている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力等を育むことができるようになっている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が思考を整理するための三つのステップを通じた学習の流れを提案する「深めよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるようになっている。 ・体験的な学習については、各学年に、自分につなげて考えたり、話題を広げたりする「心のサポート」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義等について考えを深めるようになっている。 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>* Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは11教材、Bは8教材、Cは9教材、Dは6教材、全体で34教材であり、総ページ数は142ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第2学年～ Aは12教材、Bは8教材、Cは9教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は150ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第3学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は158ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第4学年～ Aは9教材、Bは9教材、Cは11教材、Dは6教材、全体で35教材であり、総ページ数は166ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第5学年～ Aは9教材、Bは8教材、Cは10教材、Dは8教材、全体で35教材であり、総ページ数は162ページになっている。(判型はA B判)</p> <p>第6学年～ Aは9教材、Bは8教材、Cは11教材、Dは7教材、全体で35教材であり、総ページ数は170ページになっている。(判型はA B判)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">使用上の配慮等</p>	<p>○ 各学年に、自分を取り巻く社会へ意識を向けながら、自分自身とのつながりを探る「つながるわたし ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう ひろげよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、各学年に、「道徳の学習がはじまるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマークボックスを配置している。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようになっている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<p>○ いじめの問題については、「いのちの教育」を土台にしたいじめ防止の取り組みとして、全ての学年に教材を設定している。</p> <p>○ 北海道の地域素材を掲載しているのは、1・6年生で各1教材、4年生で2教材である。</p> <p>○ 児童が教材を読みたくなるようなキーフレーズをタイトル下に掲載している。</p>